

なんこく 市議会だより

No. 105

令和5年(2023年) 5月号

主 な 内 容

《3月定例会市議会》……………P2～3

一般会計当初予算案可決

・令和5年度一般会計予算

225億1,000万円

《主な可決議案》……………P4～5

《施政方針ほか》……………P5

《一般質問》……………P6～14

《議決結果一覧》……………P14～15

《なんこく歳時季 巻20》………P16

・国営圃場整備

◆ 表紙写真 ◆

高知県観光博覧会「牧野博士の新休日」の始まりに合わせ、西島園芸団地にも牧野富太郎博士を描いたパネルやフラフがお目見えしました。年間を通し、いろいろな体験イベントが行われる予定です。



発行／南国市議会

E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会

南国市大堀甲2301

TEL 088-880-6570

FAX 088-864-3281

第429回 3月定例会



一般会計当初予算225億1,000万円 昨年度比8億3,000万円 (3.6%) の減

道路維持費など、市道関連予算を大幅増、 子育て支援などの新規ソフト事業にも注力

第429回定例会市議会は、3月3日から17日までの15日間の会期で開かれました。
市長提案の議案39件、報告8件の審議を行い、全議案を可決・同意しました。また、議員より意見書等12件が提出され、審議の結果、10件を可決し、2件を否決しました。

3月定例会初日、市長より、施政方針を述べた後、今議会へ提出された議案の提案理由が説明されました。

7日から10日までの4日間は、15名の議員が、市長や教育長・関係課長に対し、新年度予算、防災、教育、新型コロナウイルス対策などについて一般質問を行いました。

13日は、提出議案への質疑と人事案件2件の採決が行われ、人事案件は全会一致で同意し、その他の議案を所管の常任委員会へ付託しました。

14日は、令和5年度一般会計当初予算に対する全議員での連合審

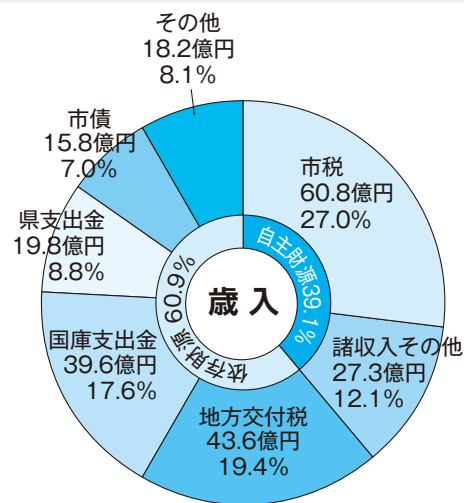
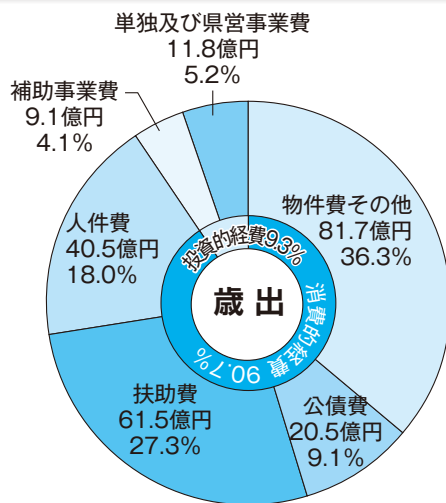
査会を開き、翌15日には、総務、産業建設、教育民生の各常任委員会で付託議案の審査を行いました。

17日の閉会日には、各常任委員長から審査の結果についての報告の後、採決に移り、全付託議案を原案のとおり可決し、その後市長から議案2件が追加され、質疑、討論の後採決に移り、両議案を原案のとおり可決・同意



しました。
同日には、議員から12件の意見書等が提出され、「南国市議会の個人情報保護に関する条例の提出について」「市長の専決処分事項の指定の一部改正について」「畜産危機打開のための緊急対策を求める意見書」ほか7件を全会一致で可決、「防衛予算の倍増を決定した政府方針の撤回を求める意見書」「物価高騰に見合う生活保護基準の引上げを求める意見書」を賛成少数で否決し、閉会しました。
(議決結果一覧は14・15ページ参照)

令和5年度一般会計当初予算 225億1,000万円



◆主な当初予算◆

議案第9号

★令和5年度

一般会計予算

土地区画整理事業や都市再生整備事業費の減等により、総額で前年度比8億3000万円減の225億1000万円となっています。

▼歳入

一般財源である市税、地方交付税等の総額は128億7915万円で、前年度に比べ0.05%の増となっています。

歳入の構成比では、自主財源が39.1%、依存財源が60.9%の割合となっています。

▼歳出

主な歳出は次の通りです。

▽総務費関係／電子自治体推進黨業費、ふるさと応援基金積立事業費

▽民生費関係／障害者自立支援給付事業費、後期高齢者医療関連事業費、児童扶養手当費、児童手当費、民営保育所等費、認定こども園事業費、乳幼児等医療費助成事業費、公立保育所費、放課後児童対策事業費、生活保護扶助費

▽衛生費関係／公的病院運営助成金、保健衛生予防費、妊婦・乳児等健康診査事業費、合併処理浄化槽設置整備事業費、塵芥処理関係事業費、最終処分場関係一般管理費、し尿処理施設運営事業費

▽農林水産業費関係／農業振興育成補助金等事業費、市単独土地改良事業費、多面的機能支払交付金事業費

▽商工費関係／商工振興費、ものづくりサポートセンター関連

事業費、観光費

▽土木費関係／道路維持費、市単独道路新設改良事業費、社会资本整備総合交付金事業費、道路更新防災等対策事業費、都市再生整備事業費

▽消防費関係／消防施設費、消防用自動車等購入費、防災費、

住宅耐震対策促進事業費

▽教育費関係／南国市アクションプラン事業費、公民館管理費、地域交流センター運営事業費、体育施設管理運営費、給食センター運営事業費

▽消防費関係／消防施設費、消防用自動車等購入費、防災費、



◆ 主な可決議案 ◆

議案第19号

津波避難施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
津波避難施設スポーツセンタータワーを新設したことから、本条例の一部を改正するものです。

議案第20号

学校給食運営委員会設置条例
学校給食の適正かつ円滑な運営を図ることを目的として、教育委員会の諮問に依拠して、



学校給食の運営に関する事項の調査及び審議を行う南国市学校給食運営委員会を設置するため、本条例を制定するものです。

議案第24号

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、本条例の一部を改正するものです。

主な改正の内容は、利用乳幼児の移動のために自動車を行き送迎する際の、利用乳幼児の所在の確認及び送迎用自動車への利用乳幼児の見落とし防止装置の整備の義務化、事業所における利用乳幼児の安全確保に関する計画の策定等の義務化、インクルーシブ保育を可能とするための設備及び職員の基準の緩和です。

議案第25号

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、本条例の一部を改正するものです。

主な改正の内容は、利用者の移動のために自動車を行き送迎する際の利用者の所在の確認の義務化、事業所における利用者の安全確保に関する計画の策定等の義務化及び業務継続計画の策定等の努力義務化です。

議案第27号

国民健康保険条例の一部を改正する条例
出産育児一時金の支給額を引き上げることから、本条例の一部を改正するものです。

議案第28号

職員の高齢者部分休業に関する条例
職員の定年の引上げを踏まえ、職員の加齢による心身の変化等に対応するため、地方公務員法の規定に基づく高齢者部分休業の制度を導入することから、必要な事項を定めた本条例を制定するものです。

行政情報公開条例の一部を改正する条例
個人情報保護に関する法律の改正に伴う個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定及び個人情報保護条例の廃止に伴い、本条例の一部を改正するものです。

議案第30号

行政情報公開条例の一部を改正する条例
個人情報保護に関する法律の改正に伴う個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定及び個人情報保護条例の廃止に伴い、本条例の一部を改正するものです。

る期限に合わせて延長することです。

議案第31号

地域情報通信基盤整備事業分担金の徴収に関する条例を廃止する条例
市が整備した光通信設備を令和5年4月1日に西日本電信電話株式会社高知支店に無償譲渡することに伴い、本条例を廃止するものです。

普通財産の無償貸付について
普通財産の無償貸付について

議案第32号

普通財産の無償貸付について
普通財産の無償貸付について

議案第33号

普通財産の無償貸付について
普通財産の無償貸付について

株式会社南国オフィスパークセンターに対し、本棟及び別棟の敷地として、県と共有する土地及び市が所有する土地を無償で貸し付けていますが、ともに令和5年3月31日で貸付期間が満了します。

同センターは第三セクターの法人として、企業誘致や創業支援の分野で公共性を有する事業を行っていることから、同センターの健全な運営を図るため、引き続き令和5年4月1日から2年間の無償貸付けを行うことが適当と判断し、議会の議決を求めるものです。

議案第35号

上倉・瓶岩北辺地に係る総合整備計画の策定について
辺地対策事業債を利用した上倉・瓶岩北辺地に係る公共的施設の整備を行うため、令和5年度から9年度までの上倉・瓶岩北辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画を策定するものであり、橋梁、飲料水供給施設、市道等の整備を予定しており、当該計画の承認について、議会の議決を求め

るものです。

議案第36号

教育委員会委員の任命の同意について

教育委員会委員の野中美宏氏が令和5年3月31日をもって辞職することに伴い、後任の教育委員会委員として細川善久氏を任命するため、議会の同意を求めるものです。

議案第37号

監査委員の選任の同意について

監査委員の岩崎司氏が令和5年3月31日をもって辞職することに伴い、後任の監査委員として塩崎泰氏を選任するため、議会の同意を求めるものです。

議案第39号

副市長の選任の同意について

副市長として北條邦寿氏を選任するため、議会の同意を求めるものです。

副市長に
北条邦寿氏を選任



北条邦寿 副市長

3月定例会の最終日に、議案第39号「副市長の選任の同意について」が追加され、全会一致で同意しました。

◆ 施政方針 ◆

岸田総理は、第21回国会における施政方針演説において、防衛力の抜本的強化、新しい資本主義、包摂的な経済社会づくり等について取り組むとし、特に子ども・子育て政策については、待たないの先送りの許されない課題であり、6月の骨太方針までに、将来的な子ども・子育て予算の倍増に向けた大枠を提示すると述べました。本市においても、少子化対策及び子育て世帯への支援は、喫緊の課題であり、国の政策に併せて、子ども・子育て施策に積極的に取り組んでまいります。

新型コロナウイルスについて、国は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、患者や濃厚接触者の行

動制限など幅広い措置が可能である2類「新型コロナウイルスインフルエンザ等感染症」に位置付けていましたが、5月8日に季節性インフルエンザと同等の5類に移行することを決定しました。これに伴い、治療費の公費負担や行政による病床確保がなくなることで懸念されるため、段階的な移行が検討されています。また、緊急事態宣言などを定める「新型コロナウイルス感染症対策特別措置法」の対象外となるため、これまでの感染対策が大きく変わることとなります。変更後の感染防止対策について、市民の皆様が混乱することがないよう、引き続き、迅速・適切な情報発信に努めてまいります。

議
会
日
誌

3 月	2 月	1 月
28日・香南清掃組合議会 ・南国香南香美租税債権管理機構 議会定例会 27日・ごめん・なはり線活性化 協議会総会（安芸市） 17日・議会運営委員会 ・議会だより編集委員会 3月17日・第429回市議会定例会 2日・議会運営委員会	27日・市政連絡会 24日・シンボルロード等基本構想説明会 1日・全国高速自動車道市議会 協議会定期総会（東京都）	31日・全国市議会議長会 地方財政委員会（東京都） 30日・市政連絡会 16日・議会だより編集委員会 10日・市政連絡会

執行部に問う

一般質問



南国市議会 YouTube
これまでの議会中継も
ご覧になれます

3月議会では、防災・教育・新型コロナウイルスなど市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約して紹介します。

◇3月議会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

1 今西忠良①日本の針路(安全保障戦略の大転換、平和と憲法、新しい戦前にしないために)②新型コロナウイルス感染症対策(感染症法上の位置づけ変更)③南国市地域公共交通計画

2 前田学浩①三和地区での小さな集落活性化事業②道の駅での南国びじん特産品シリーズ③地域運営組織と健康づくり④地域運営組織とコミュニティ・スクール⑤地域運営組織での社会教育士

3 西山明彦①市長の政治姿勢(令和5年度予算、まちづくり、大篠公民館)②市民の安全・安心(街路灯・防犯灯の整備、信号機の設置)③子育て支援(市営住宅への入居、予防接種)

4 西川潔①市街化調整区域の規制緩和後の成果と課題、さらなる規制緩和に向けて②上倉・瓶岩地区の将来像と中山間担当係の設置、個人で設置している生活用水(水道施設)への支援について

5 植田豊①災害時情報カメラシステムの構築②LPガス協会との協定③消防団員の高齢化④公立中学校部活動地域移行⑤公共施設でのスマホ教室

6 中山研心①あらゆる差別のない社会実現のために②マインバーカード③ChatGPTの活用

7 土居恒夫①シンボルロード等基本構想について②事業提案(高齢者の骨折予防、人財バンク、バイオプラスチックごみ袋)③気になる課題(公民館使用料減免、市展、学校図書廃棄、制服リユース)

8 丁野美香①ヘルメット着用推進(現在の申請状況、推進やアピール)②防災行政(消防署北部出張所に関して、防災コミュニケーションセンター、十市保育園高台移転、地域防災拠点)

9 杉本理①加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成制度を②学校給食・子どもの医療費無料化を③防災④会計年度任用職員の雇用確保・待遇改善を⑤乳幼児のおむつ持ち帰りについて

10 有沢芳郎①福祉対策について②開発許可申請について③農地法の規制の緩和について④新しい図書館はどうなっているか⑤コロナワクチン接種について(新型コロナウイルスワクチン接種事業にかかった費用は)

11 福田佐和子①まちづくり計画に地元の声を②MIARE!と図書館には正規職員を③農協の合併に伴う市民の不安解消を④マインバーカードを持たない市民への対応を⑤保育士の増員を

12 土居篤男①市勢の発展について②農業問題について③浜田憲雄①南国スポーツパークの運営と管理・整備状況(人工芝グラウンドの整備計画、北側野球場の管理と使用状況、スポーツパークの活性化プラン)②市道三和南北線橋梁(後川橋)架け替え工事について

14 斉藤喜美子①兄弟児別園と隠れ待機児童②みどりの食料システム戦略実現に向けて③水田と米をどうするか、米粉の可能性④農業政策とオーガニック給食のこれから⑤猫の不妊手術支援と多頭飼育者早期発見

15 神崎隆代①共生社会への取組(デフリンピック、Wi-Fi環境、トイレの整備等)②奨学金返還支援③がん対策・インフルエンザ予防接種補助金④リトルベビードブック⑤なんこく防災家族会議の日

今西忠良 議員



コロナワクチン接種
の現状と今後

問 第7波以降、感染者数の爆発的な増加により、救急体制は機能不全に陥り、死者数は拡大した。南国市の新型コロナウイルス接種の現状と進捗状況、今後の予定を問う。

答 接種状況としては、昨年12月に集団接種を一旦終了し、1月以降は市内9医療機関で1週間当たり約100人がオミクロン株対応ワクチンの個別接種を受けている。3月1日現在、小児接種については、1回目15・71%、2回目14・19%、3回目7・6%となっている。また、年代別の接種率として4回目接種

を終了しているのは、20代20・68%、30代25・56%、40代33・31%、50代51・13%、60代69・29%、70代以上83・41%となっている。オミクロン株対応ワクチンの接種率は、65歳以上69・58%、12歳以上46・11%となっている。

令和5年度は、5月から8月にかけて65歳以上の高齢者や基礎疾患のある重症化リスクの高い人のほか、医療従事者や高齢者施設等従事者を対象に、9月から12月にかけては、高齢者等を含む接種可能な全ての人を対象に接種を行う予定だ。今後のスケジュールは、4月に接種券発送及び予約開始、5月より集団接種を開始する予定となっている。

市の中心部を核にしたバス運行

問 現在、コミュニティバスは市内4路線で

運行。路線の見直しを図るとともに、市内タクシー事業者と調整を行い、市内中心部を核とした運行計画の見通しについて問う。

答 新たな移動手段の確保として、現在市内タクシー事業者と調整を図り、公共交通空白地域の面的支援として、空白地域を区域運行し、既存路線につなぎ、乗り継ぎにより目的地へ行く方法や、区域運行により利用時間は一定制限した上で、公共施設等へ直接行ける方法などを検討している。

また、4路線については、後免町に集約し、街路の整備が進めば、市内中心部を周回する運行と組み合わせる案も考えている。

いずれも各事業者の協力が必要となり、地域に寄り添った運行体系となるよう、協議を続けたい。

前田学浩 議員



三和の地域運営組織

問 地域運営組織の高知県版集落活動センターは、現在、稲生地区のみである。その前段階の位置づけ「小さな集落活性化事業」を三和地区で行っているが、これまでの経過、現在の状況と今後の活動予定、市内他地区への横展開の方策を問う。

答 三和地区では、平成30年度に三和をよくする会が組織化され、少子高齢化対策部会、地域活性化部会、地域防災対策部会の3部会で、課題の解決に向けた話し合いを続けている。本年度は、専任のコーディネーターとなる集落支援員1名を配置し、地域外との関係人口づ

くりや地区外との世代間交流、防災活動などの取組を検討してきた。来年度事業としては、少子高齢化対策部会で若い世代の新たな出会いと多世代間の親睦・交流を目的に、出合いのバーベキュー大会を実施する。地域活性化部会は、健康長寿のまちづくりを目的に、親子料理教室や地区民運動会の発展型のみわりんピックを開催する。

地域防災対策部会は、災害と環境をテーマに三和地区全体の防災訓練や、浜改田、十市の海岸清掃活動を実施する予定だ。

三和地区での実践により、人材を育成するとともに、事業効果検証も行い、市内の他地域にも情報提供し、横展開を図っていきたい。

学校運営協議会制度

問 新年度から、全市で学校運営協議会制度

いわゆるコミュニティ・スクールが始まる。学校管理職等関係者からは、その形骸化を心配されている。学校運営協議会がうまく機能するためには地域運営組織との連携が重要である。新年度からの体制づくりを聞く。

答 地域住民に学校行事や参観日に学校へ足を運んでいただく機会や、児童生徒が校外学習や地域行事など、地域住民と触れ合う機会を増やすことにより、学校運営や運営に必要な支援に関する協議に、保護者や地域住民などの意見がより反映されるところを考えている。

「よりよい教育を通じてよりよい社会を創る」の実現に向け、相互の連携、協働の下に学校づくりと地域づくりを進めていけるよう、コミュニティ・スクールの運営の必要がある。

西山明彦 議員



市民の安全安心

(街路灯と信号機)

問 現行の防犯灯補助金額の見直しと、支柱を新設する場合への支援制度創設を求める。

答 LED式照明器具設置工事の費用に関する補助金増額の見直しは行っていないが、新たに防犯灯ポールを設置に関する種別を追加した。LED式照明器具付の一式工事として、1か所8万円を限度に補助する内容だ。

問 後免町商店街の街路灯への支援を求める。

答 後免町商店街の街路灯は、市が令和8年度から9年度の2か年で整備する計画で、その電気料金は、市が負担したい。整備が完了

するまでは、防犯灯の補助金の活用をお願いしたい。

問 後免町商店街と南国駅前線の交差点に信号機、横断歩道の設置はできないか。商店街が東西に分断される。今後の取組を問う。

答 信号機設置を念頭に県警と協議してきたが、電車通り交差点から間隔が短いと設置できないとの回答だった。歩行者が安全に横断できなくなるため、設置を地元とともに県警へ要望したが認められず、北の新図書館前の交差点に信号機と横断歩道を設置する計画にせざるを得なかった。

後免町の将来像としては、西側の特徴ある施設の方々と連携できれば、より誘客効果の高い取組ができると思っている。また西側へ導く誘導サイン等の設置を検討する。令和5年度以降も引き続き活

性化を図っていききたい。

問 高知南国線と県道インター線の交差点(後免東町交差点南)に信号機設置を求める。

答 子供たちの横断もあり、信号機があつてほしいと思う。学校関係者等と協力しながら要望を行っていききたい。

予防接種への支援

問 予防接種法に定める接種期間外での接種への助成を求める。

答 免疫疾患等で受けられなかった場合は、公費負担で接種できる場合があるので、相談いただければ対応する。

問 インフルエンザ予防接種を中学校卒業まで無料化できないか。

答 インフルエンザの自己負担は医療機関により異なるので、どのように公費負担することが望ましいのか、子育て世帯支援の在り方も踏まえて検討したい。

西川 潔 議員



規制緩和で集落の活性化へ

問 市街化調整区域の規制緩和後、開発申請相談に係る業務において処理が遅滞し、市民や業者に迷惑をかけている。対応と課題を問う。

答 マンパワーが不足している中、申請及び相談件数は年々増加している。併せて、近年、判断が難しい案件、特に技術基準に関しては経験と知識が豊富な土木技師がいなかったため、開発までに1か月から数か月を要するような規模の大きい開発相談も急激に増加している状態が続いている。そのためしばしば一、二週間先まで相談の予約

が取れないことや、回答の遅延など、相談者から多くの苦情が寄せられている。

相談者には、担当の開発係の現状を説明し、御理解をいただいている。現状の改善に向け、他市の先進事例を参考にしながら、業務の簡素化や効率化を図る検討をしている。

問 集落活性化のため、住宅建築が可能な規制緩和を進めよ。

答 平成30年から規制緩和を行い、5年がたったときに再度検証して、要望にお応えできるのか検討したい。

個人水道施設への補助が実現

問 これまでの議会一般質問で中山間地域の個人生活用水への支援を要望していたが、その結果を聞く。

答 施設の改修等に対する支援を目的とした新たな補助事業を創設

するため、令和5年度予算に計上している。

問 補助金の実施要領・要綱について聞く。

答 要綱等の細かい内容については検討中だが、中山間地域の上水道未普及区域において、水量、水質等が不安定な谷水などによる取水をされている方で、近隣の戸数が少ないなどの理由で補助事業の対象とならない施設の改修等に活用し、少しでも快適に住み続けられるための支援として考えている。

問 生活用水への支援は生活維持のために最も必要。補助対象を柔軟にすることを求める。

答 あくまでも中山間地域で谷水を活用されている方と考えている。

植田 豊議員



災害時情報カメラシステムの構築

問 災害時情報収集カメラシステムの構築は、

災害発生直後の被災状況の収集・分析・活用にかける大変有用性ある情報収集の方法だ。実行計画を問う。

答 現状、本市には、独自の洪水や津波発生時における実況映像を収集する仕組みがないことを踏まえ、災害初動期の情報収集のために災害時情報カメラシステムの構築を進めていく。

令和5年度には浜改田の中ノ丁タワーと高知大学農学部敷地に建設した防災行政無線の鉄塔2基にカメラを設置する予定だ。

3か年で合計7基の鉄塔に設置する予定であり、令和6年度以降、三和防災コミュニケーションセンター、岩村保育所跡、稻生小学校、岡豊ふれあい館、十市坪池に建設した鉄塔5基にカメラを設置していく予定だ。

スマホ教室

問 南国市DX推進計画(令和5年度から令和7年度)の素案には、

「誰一人取り残されないデジタル化を実現するため、スマホ教室の開催などデジタルデバイドの解消に努めます」とある。実行計画を問う。

答 令和5年度のスマホ教室については、高齢者教室8教室において開催する予定としている。

開催時期については、7月を予定しており、各教室1時間半の時間をいただき、基本的な

スマホの使い方に加え、3月から運用を開始した市公式LINEを紹介する内容としている。今回の教室ではWi-Fiの環境は必要としていない。

今後の目標については、DX推進計画の実施計画において、令和5年度中に定める予定としているが、このスマホ教室を継続して実施することにより、行政手続のオンライン申請手続等の普及啓発にも努めていきたい。



中山研心議員



あらゆる差別のない社会実現のために

問 表現の自由が憲法で保障されているとは

いえ、人を差別する表現の自由はないと考えるが所見を。

答 表現の自由は人権の中でも重要な権利だが、公共の福祉に反しないという制限もあり、差別する表現の自由はないものと考えている。

問 差別を規制する何らかの仕組みと、救済手段が必要だと考えるかどうか。

答 様々なケースがあるので、一律に定めることは難しいとは思いますが、国全体の議論として法制化をさせていただければと思う。

ChatGPTの活用

問 市民生活の向上のためのChatGPT活用方法を。

答 ChatGPTについては、文書で質問をすれば、AIにより簡潔または詳しく解説してくれるものと認識している。まだ誤った文書を生じてしまう現状はあるようだが、その誤りを指摘すると学習する機能も備えており、今後の様々な分野での活用が期待される。

ただ、本市におけるDXや業務のデジタル化における市役所の業務の見直しや効率化、市民生活の向上において、現在のところ活用を考えたことはない。

ほかにAIを活用した自動応答ソフトがあり、公的機関で利用するには、情報の完全性を確保するための運用方法やサービスの継

続性、障害時の対応等について考慮する必要があると考えている。

問 教育現場におけるChatGPT使用に関わるルール作りの必要性について考えを。

答 コロナの時代によってAIを活用した教育が進むということが言われていたが、このChatGPTによって、予想以上にAIによる教育への影響力が心配される状況が生まれることに驚きを隠せない。社会全体に及ぼす影響もかなりのものと考えている。

今後、日本でも起こるであろう混乱を予測し、また、教育に与える影響を考えていかなければならないと思う。教育においても、児童生徒がこのツールを利用していているという前提で教育活動を行う必要性も感じている。

土居恒夫 議員



シンボルロード等
基本構想について

問 都市計画道路南国駅前線を核として駅前広場、新図書館、商店街を歩いて楽しむ「ウォークアブルなまちづくり」が進められている。商店街を東西で通行不可としている中央分離帯について問う。

答 中央分離帯については、バリケードを取り囲むように設置する予定だ。バリケードを設置するだけなので、警察との協議になるが、一時的に開けられる中央分離帯で、歩行者天国にできるようなことも今後は検討していきたい。

気になる課題

問 公民館使用料減免改正について問う。

答 以前から各公民館長より、使用料について、減免団体の判断が難しいため、市で基準を決めてほしいと相談されていた。また、大篠公民館が地域交流センターの2階に移転した関係で、公民館の使用料の減免規定の一部改正を行った。

問 市展の今後について問う。

答 令和5年度の市展については、一般の部と幼児・児童・生徒の部が合同で、今までどおり市立スポーツセンターで開催することが南国市美術展覧会実行委員会が決まっている。令和6年度の市展をどうしていくのかについては、5月開催予定の実行委員会で協議をしたい。

問 学校図書廃棄処分

について問う。

答 学校の図書館の蔵書を購入した際に、除籍された図書は、図書室から学級文庫へ移し、学級文庫でも不用となった図書は、希望する生徒が持ち帰り、残った図書についてを資源ごみとして処分している学校もある。その他の学校でも、学級文庫でも不用となった図書は傷みは激しいが、希望する生徒がいる場合は持ち帰ることができないか、学校と協議を行いたい。

問 制服リユースについて問う。

答 南国市社会福祉協議会で制服のリユースは行っており、社会福祉協議会の機関誌並びにホームページでも、サイズ等を含む学校ごとの在庫件数も掲載し、必要な方の手元にお渡しできる体制を整えている。

丁野美香 議員



ヘルメット着用推進

問 南国市自転車ヘルメット購入補助金の現在の申請状況を聞く。

答 令和5年2月末現在、17件の申請となっている。広報3月号配布後は、多くの問合せをいただいている。

問 ヘルメット着用推進に親子で参加するイベントなどのアピールを求める。

答 令和5年度は、南国自動車学校での親子交通安全教室の再開催に向けて協議する予定だ。教室の内容を拡充し、児童だけでなく、保護者も自転車に乗り、楽しく学べるよう企画していく。

問 ヘルメット着用推進に市職員から広めて

みてはどうか。

答 市民に広くヘルメット着用を呼びかけていくために、市職員がその手本となり、推進していくことは肝要で、通勤に自転車を使用する職員も多くいることから、ヘルメットの着用が進むように呼びかけていく。

防災行政

問 市の中心部には消防本部があり、北部には消防署北部出張所があるが、なぜ南部に必要なのか。災害時に必要な防災拠点となる出張所の立ち上げを求める。

答 北部出張所は、昭和62年に高知自動車道の開通に伴い、高速自動車道における火災及び救急救助業務を行うため、旧の日本道路公団と覚書を交わし、財政措置を受けて設置された。

問 南部の出張所については、過去に十市地区

等への現場到着時間の短縮を考え、高知市消防局三里出張所移転計画策定段階で、十市付近に整備して高知市と共同運用しようと検討したこともあったが、財源及び人員の大幅な増員が必要ことから実現していない。その後、坂ノ松・蛸の森トンネル等の開通により南部地域へのアクセスもよくなった。

問 出張所開設には、最低12人の増員が必要なことから、防災拠点となる出張所整備は難しいと考えている。

答 南海トラフ地震に備え、行政主導による十市と稲生の保育園の高台移転促進を求める。

問 移転場所などの決定については、協力的な体制を取りながら主体的にも動いているところであり、市としてもできることはやっていく。

杉本 理 議員



会計年度任用職員の待遇改善を

問 雇い止めをしている自治体があると聞いている。本市の実態を問う。

答 会計年度任用職員の任用期間は、1会計年度を超えない範囲内となっている。
新たな年度において再度の任用が想定される場合、応募要件には任用の回数や年数が一定数に達していることなどの制限は設けていない。

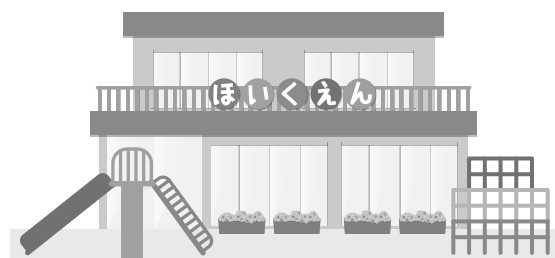
問 会計年度任用職員の処遇改善に、国は必要な財源を保証するべきだが、見解を伺う。
答 会計年度任用職員の雇用の安定や処遇の改善は、必要であると

思う。処遇改善の内容にもよるが、必要な財源は本市のことに限ったわけではないので、しっかりと国のほうで財源措置をしていただきたい。

保育所（園）おむつ持ち帰りの解消を

問 保育所での使用済み紙おむつの処分について、その後の進捗状況を聞く。

答 この件についてはこれまでも御質問いただいた経過もあり、公立保育所では使用済み紙おむつの園での処分について、実施に向けて検討を行ってきた。
現在、臭気漏れ軽減対応のダストボックスを、屋内用合計11個、屋外用合計6個を購入し、各園の状況に合わせて配置を行っている。
これにより、公立保育所では、4月からの園での使用済み紙おむつの処分に向けて、各



園で取扱いについて準備を行っている。

問 民営保育園等では施設ごとに対応が違う。今後の民営保育施設での対応を聞く。

答 民営保育施設については、それぞれの状況や方針があるかと思う。今後、施設からの相談等があった場合には、対応を検討していきたい。

有沢芳郎 議員



福祉対策について

問 障害者のための制度で、市独自の制度を問う。

答 本市だけの制度ではないが、市内に住所を有し、身体障害者手帳の等級が該当する方は、年間1万2000円のタクシー券、もしくは給油券を支給している。

また、令和4年度から、南国市重症心身障害者在宅レスパイト事業を始めている。介護を行う家族等の休養を図るために、訪問看護ステーション等に属する看護師を自宅に派遣し、家族が行っている医療的ケアを一時的に代替するもので、市民要望があったことから

始めたものだ。

問 高知市では障害者への短期間の椅子の貸与制度があるが、本市にはない。今後無償で椅子をレンタルできるとの対応すべきではないか。

答 予備の椅子が数台あったので、修理・点検を行い、貸出し実施要綱等を整備して、貸出しに向け準備を行う。なお、南国市社会福祉協議会でも、介護保険を利用されていない方への貸出しを行っており、その制度も併せて周知を図っていく。

新図書館について

問 新しい図書館はどこまで進んでいるのか。

答 令和4年度から2か年で用地取得と移転補償を終わらせる計画で進めており、令和5年度中に造成工事に着手する計画となっている。

問 市民の声はどこま

で採用されたのか。

答 令和3年度にパブリックコメント及び市内の各小中高등학교、保育施設等を通じて要望調査を実施し、実施設計を進める中で可能な限り反映させてきた。また、蔵書やサービス面での意見についても、開館に向けて可能な限り反映できるよう準備、検討していきたい。

問 生涯スタイルに寄り添う図書館にする構想を問う。

答 図書館の基本的な役割である情報提供を充実させるとともに、幅広い世代の方が居心地よく過ごせる図書館となるよう努める。

問 電子書籍の導入について問う。

答 現在導入しておらず、新しい図書館にも導入する計画はないが、今後検討したい。

福田佐和子 議員



まちづくり計画

問 駅前線のシンボルロードは商店街を二分。地元の声を聞いて進めているか。

答 シンボルロード等基本構想の策定に当たっては、ホームページや広報でアイデア募集を実施したほか、南国市シンボルロード検討会（ワークショップ）を2回開催し、様々な意見や提案をいただいた。

また、この基本構想の素案についても、住民説明会を実施し、いただいた意見や提案をできる限り基本構想に反映したので、今回の基本構想は地元住民や商店の声を反映しているものと考えている。

問 計画周辺には多くの店舗や病院があり、居住されている人も多い。買い物だけでなく安否確認もできており大事な場所。地元の納得をいただくことが大事では。

答 これからの中心市街地活性化の取組やまちづくりの計画策定には、地元住民の声を幅広くお聞きし、地元住民の思いや意見をできるだけ反映していくことが求められている。

市民と行政が信頼関係を持ちながら、適切な役割分担の下、市民の参画の機会を増やし、市民の意見を聞き、まちづくりに生かしていきたい。

保育士の増員を

問 他市での問題事案のバスへの置き去り等を受け、市内各園にどう対応したか。

答 スクールバスの運用に関して、園児の送

迎等にスクールバスを利用している各施設に確認を行い、安全対策を行っていることを確認した。

また、欠席連絡がなく子供がいない場合には、保護者に確認を取るなど、安全確保に一定取組ができていたことを確認した。

問 4、5歳児各30人を保育士1人で見るのは考えられない。子どもの生命を守る大切な仕事。早急に増員を。国にも要求すべきでは。

答 保育職員については、現在、国が処遇改善の支援策を実施するなど動きもあり、保育職員の確保に向けては、こういった国の動向を見ながら適切な対応を行っていききたい。

土居篤男 議員



市勢の発展について

問 南国市の人口は5万人を超えていたが、現在は4万6000人程度になっている。市長は2期目を担っているが、産業振興や都市づくりを、にぎわう南国市になるよう、どう取り組むのか聞く。

答 住む場所の確保、働く場所の確保、そして魅力あるまちづくりという大きな3つを挙げてきた。多くの方に魅力を感じていただき、興味を持っていただいて、南国市に住もう、住み続けたいと思っただけのまちづくりを進めてきた。それにより、人口の減少を少しでも抑えていくことにつながっていくのではないかと期待をしている。

これからもそういった事業を中心に、より南国市の魅力のブラッシュアップに努めていきたい。

農業問題について

問 ロシアのウクライナへの侵攻により、日本ではハウス園芸用燃油や肥料・飼料の値上がりで農業から撤退する状況にある。農業経営を守るために市が支援することを求める。

答 ウクライナ情勢や最近の大幅な円安も含めた様々な影響により、燃料用重油はもとより、肥料及び各種農業用資材、また配合飼料、乾牧草等の飼料も高騰し、農家の経営を大きく圧迫している状況となっている。

そのような状況の中、農業用の燃料については、施設園芸セーフティーネット構築事業に

加入されている農業者に対する支援を補正予算に計上している。

肥料についても、春肥に対する支援を既決予算で実施する予定だ。また、畜産農家に対する飼料高騰対策として、国や県の配合飼料への支援が行われているが、本市においては飼料価格の高騰に直面する畜産農家の経営安定と食料の安定供給を図るため、乳牛、肉用牛、採卵鶏、肉用鶏を飼育する畜産農家を対象とした給付金支援を現在行っている。

今後とも地域農業を守る効果的な対策となるよう、関係機関と連携して、国の動向、対応策等を注視しながら対応していきたい。

浜田憲雄 議員



三和スポーツパーク
の整備・管理状況

問 人工芝グラウンド
(サッカー場) の整備
計画を問う。

答 関係者で協議し、
土入れを行う方向で進
めていくことになり、
現地で土のサンプルを
持ち込み協議したが、
思うような効果が得ら
れないことが判明した。
一旦白紙に戻して、コ
ンサル会社に委託して
調査し、結果を基に再
度協議を行い、整備の
方向性について決めて
いきたい。今後の工事
の見込みは、令和5年
度以降で適した時期を
決めたい。

問 北側グラウンド
(野球場) の管理と使
用状況について、県よ

り施設移管後、なぜ管
理できていないか。

答 今まで管理を行っ
ていない。今までの経
緯を踏まえ、関係者に
よる話し合いを始めた。

問 グラウンドや照明
設備、クラブハウスの
設計図など関係書類が
市や指定管理者にない
が、対応を問う。

答 グラウンドは構図
を作る際に、照明器具
はLED化の際に、ク
ラブハウスは耐震化工
事の際に、それぞれ作
ることになるかと思う。

後川橋架け替え工事

問 進捗状況を問う。

答 現場は橋梁の下部
工が完成し、この4月
には橋桁が架かる予定
だ。その後、車道部分
を現地にコンクリー
ト打設により施工を行
い、アスファルト舗装、
そして最後に高欄を設
置し、橋梁本体は完成
する。また、附帯工事
として作業ヤードの撤

去、各種の復旧を行い、
供用開始は本年9月末
を予定している。

問 工期延長に至った
原因と車両全面通行止
め長期化への対応は。

答 想定地質と異なる
原因による工法変更に
より増額となったが、
国の補助金事業であり、
不足した国の補正事業
費確保のため、時間を
要した。

住民や関係者への周
知は、学校、保育所、
近隣事業者、改良区に
直接訪問し説明してい
る。地域住民には、現
地の工事看板や回覧板
により周知していく。

問 工期延長が浜改田
西部工区の圃場整備事
業に影響がないか。

答 後川橋の完成が9
月末であれば事業進捗
に影響はない。

斉藤喜美子 議員



兄弟児別園と隠れ
待機児童について

問 待機児童がゼロに
なったと聞くが、希望
の園に入らず、申込み
取下げの隠れ待機児童
がいるのではないか。

答 入所決定の際には、
保育の必要性の高いほ
うから決定すること、
また、各施設で年齢ご
とに定員が決まってお
り、入所判定の際に希
望施設に既に入所して
いる児童が定員に達し
ていれば、点数にかか
わらず、空きが出るま
でその園での受入れが
できず、希望の施設に
入れないということも
ある。これは、各施設
の空き状況によるもの、
また保育の必要性によ
る対応ということにな

るので、御理解を願
いたい。

問 保育士人員配置問
題と処遇改善での「保
育の質」向上について
今後の市の取組を聞く。

答 配置については、
基準額により定められ
ており、その基準など
により運営に係る経費
として公定価格が定め
られている。民営施設
については、国の基準
による公定価格をベー
スにした給付費で運営
を行っているため、現
状での大幅な職員の増
を図ることは難しいが、
市単独事業や県、市事
業で一部補助も行って
いる。国においては、
幼児教育や保育サービ
スの量、質、両面から
の強化なども含め、子
育て支援の拡充が言わ
れているところで、今
後国の動きを見ながら、
市として要望していく
べきところは、市長会
などを通じ要望したい。

農業政策と
オーガニック給食

問 農業政策がみどり
戦略で環境負荷低減農
業を推進し始めている。
販路として公共調達も
国は進めているが、市
でも小規模なところか
ら試験的に導入するこ
とはできないか問う。

答 公共調達によつて
農業を守るという視点
は、既に南国市では学
校給食において取り入
れており、有機農業に
よつて栽培された作物
についても、学校給食
で使えがでないもの
のかという思いはあ
る。しかしながら、安
定的な供給の問題もあ
り、オーガニック食材
の使用については、順
次検証を行いながら進
めていくことになる。

神崎隆代 議員



共生社会への取組

問 デフリンピックの市長の所見を問う。

答 単にデフリンピックというスポーツ大会ではなく、情報バリアフリーを推進し、共生社会の実現のテーマに基づき国民の理解を求める意味も含まれている。大会を通じ、聴覚障害者への一層の理解が進むことを期待する。

問 デフスポーツやデフアスリートを知ることで障がいに対する理解を深めることができる。教育長の考えは。

答 デフリンピックを契機に、聴覚に障害のある方への理解が深まるよう、教育現場においても具体的な取組を進めたい。

問 2025年の開催に向け、どのように啓発していくのかを聞く。

答 広報等の利用や、手話通訳者がいるので、小学校で教室をするなど様々な方法があると考ええる。

がん対策

問 がん検診受診率は。

答 令和3年度の受診率は、胃がん検診2・5%、胸部検診7・6%、子宮頸がん検診4・6%、乳がん検診6・4%、大腸がん検診4・8%となっている。

問 受診率アップのための取組を聞く。

答 各対象者に随時、はがきで検診を案内し、20歳・40歳になる方に対象の検診クーポン券を、40歳・50歳を迎える方には全てのがん検診が無料の案内文書を送り、年度初めに送っている。また、特定健診とがん検診を同時に受けられるセット検診を実施

し、令和5年度は、県の広域がん検診と連携して、土曜・日曜の検診日を増やす予定だ。さらに、公式LINEや健康パスポートのSNS機能を使い、積極的に受診勧奨していく。

問 がんになっても働き続けられる環境を。

答 職場側のがん対策は、健康経営にもつながり、貴重な人材を失わずに済む。正しい知識が必要になるので、健康増進に関する連携協定を締結している保険会社と協力し、講師派遣やイベントの開催など、官民一体となつて、環境の整備に取り組む。

問 がんの予防・受診率アップとしてのがん検診の無料化やプッシュ型への考えを聞く。

答 受診料を無料化している市町村もあるので、プッシュ型と併せて検討していきたい。

議 決 結 果 一 覧 (3月定例会)

◆議 案

《令和4年度補正予算》

1号・一般会計補正予算	全会一致で可決
2号・住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算	全会一致で可決
3号・土地取得事業特別会計補正予算	全会一致で可決
4号・国民健康保険特別会計補正予算	全会一致で可決
5号・介護保険特別会計補正予算	全会一致で可決
6号・後期高齢者医療保険特別会計補正予算	全会一致で可決
7号・水道事業会計補正予算(第2号)	全会一致で可決
8号・下水道事業会計補正予算(第2号)	全会一致で可決

《令和5年度予算》

9号・一般会計予算	全会一致で可決
10号・住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	全会一致で可決
11号・土地取得事業特別会計予算	全会一致で可決
12号・農業集落排水事業特別会計予算	全会一致で可決
13号・国民健康保険特別会計予算	全会一致で可決
14号・介護保険特別会計予算	全会一致で可決
15号・企業団地造成事業特別会計予算	全会一致で可決
16号・後期高齢者医療保険特別会計予算	全会一致で可決
17号・水道事業会計予算	全会一致で可決
18号・下水道事業会計予算	全会一致で可決

《その他》

19号・津波避難施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
20号・学校給食運営委員会設置条例	全会一致で可決
21号・市立公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例	全会一致で可決

議決結果一覧(3月定例会)

22号・市立防災コミュニティーセンター設置及び管理に関する 条例の一部を改正する条例	……	全会一致で可決
23号・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する 基準を定める条例の一部を改正する条例	……	全会一致で可決
24号・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部を改正する条例	……	全会一致で可決
25号・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部を改正する条例	……	全会一致で可決
26号・子ども・子育て会議条例等の一部を改正する条例	……	全会一致で可決
27号・国民健康保険条例の一部を改正する条例	……	全会一致で可決
28号・職員の高齢者部分休業に関する条例	……	全会一致で可決
29号・個人情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例	……	全会一致で可決
30号・行政情報公開条例の一部を改正する条例	……	全会一致で可決
31号・地域情報通信基盤整備事業分担金の徴収に関する条例を廃止する条例	……	全会一致で可決
32号・普通財産の無償貸付けについて	……	全会一致で可決
33号・普通財産の無償貸付けについて	……	全会一致で可決
34号・訴えの提起について	……	全会一致で可決
35号・上倉・瓶岩北辺地に係る総合整備計画の策定について	……	全会一致で可決
36号・教育委員会委員の任命の同意について	……	全会一致で同意
37号・監査委員の選任の同意について	……	全会一致で同意
38号・調停の申立てについて	……	全会一致で可決
39号・副市長の選任の同意について	……	全会一致で同意

◆報告

1号・債権放棄の報告について	……	報告
2号・損害賠償の専決処分の報告について	……	報告
3号・損害賠償の専決処分の報告について	……	報告
4号・損害賠償の専決処分の報告について	……	報告
5号・損害賠償の専決処分の報告について	……	報告
6号・市営住宅明渡等請求に関する和解の専決処分の報告について	……	報告
7号・市営住宅家賃等支払請求に関する和解の専決処分の報告について	……	報告
8号・市営住宅明渡等請求訴訟の提起の専決処分の報告について	……	報告

◆議員提出議案(議発)

1号・議会の個人情報の保護に関する条例の提出について	……	全会一致で可決
2号・市長の専決処分事項の指定の一部改正について	……	全会一致で可決
3号・畜産危機打開のための緊急対策を求める意見書	……	全会一致で可決
4号・アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書	……	全会一致で可決
5号・新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の 強化を求める意見書	……	全会一致で可決
6号・带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	……	全会一致で可決
7号・認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書	……	全会一致で可決
8号・学校部活動の地域移行に関する意見書	……	全会一致で可決
9号・「森林・林業基本計画」の推進を求める意見書	……	全会一致で可決
10号・地域のグリーントランスフォーメーション(GX)の促進を求める意見書	……	全会一致で可決
11号・防衛予算の倍増を決定した政府方針の撤回を求める意見書	……	賛成少数で否決
12号・物価高騰に見合う生活保護基準の引上げを求める意見書	……	賛成少数で否決

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対 一議長(議長は賛否に加わりません) 欠…欠席

議員名	杉本	丁野	西山	神崎	植田	西本	浜田	齊藤	岩松	西川	土居	有沢	中山	前田	村田	岡崎	野村	浜田	土居	福田	今西	結果
議案番号	理	美香	明彦	隆代	豊	良平	憲雄	喜美子	永治	潔	恒夫	芳郎	研心	学浩	敦子	純男	新作	和子	篤男	佐和子	忠良	
議発11号	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	欠	×	×	—	○	○	○	否決
議発12号	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	欠	×	×	—	○	○	○	否決



給水施設（久枝工区）



整備後の道路（能間工区）

〔国営圃場整備〕

国営圃場整備事業は、農道や水路を整備し形状の悪い農地を大区画化することで、農作業の効率化を図り、農業の振興と地域の活性化を目的として、令和2年度より開始しました。また、耕作できなくなっても担い手の方などにも借りてもらいやすい農地とし、耕作放棄地防止等にも効果が期待されます。

令和5年4月現在では、全15工区のうち久枝工区が工事完了、下島・能間工区が一部完了となりました。また、新たに浜改田西部工区が工事着手する予定です。

事業により耕作労力の削減、将来の担い手の育成に加え、露地野菜などの高収益作物の栽培による農業所得の増加が期待されています。

なんこく歳時季

巻

20



久枝工区工事完了直後（R5.3.27撮影）

- 3月定例会市議会の会議録は、6月上旬以降に市ホームページ（<http://www.city.nankoku.lg.jp>）、議会事務局のほか、市立図書館で閲覧できます。
- 次回の定例会市議会は6月9日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。

◎市議会だより編集委員会

委員長	西山明彦
副委員長	土居恒夫
委員	杉本代理
〃	神崎隆代
〃	斉藤喜美子
〃	中山研心

（中山）

市民の皆様と連携し、新たな時代の課題に立ち向かい、南国市が時代の変化にしっかりと対応し生き残っていけるよう、安全で豊かなまちづくりに取り組んでまいります。

（中山）

例年より早く暖かくなり、桜の便りも聞かれるようになって、南国市議会は閉会しました。

今回の定例会では、新年度予算のほか、新型コロナウイルスの影響や、身近な生活課題について議論が展開されました。コロナは、私たちの生活様式を変えるだけでなく、地域の経済や教育、医療にも大きな影響を与えています。

議会の役割は、市民の期待に応えるため、効果的な対応策を見出すことです。

編集後記